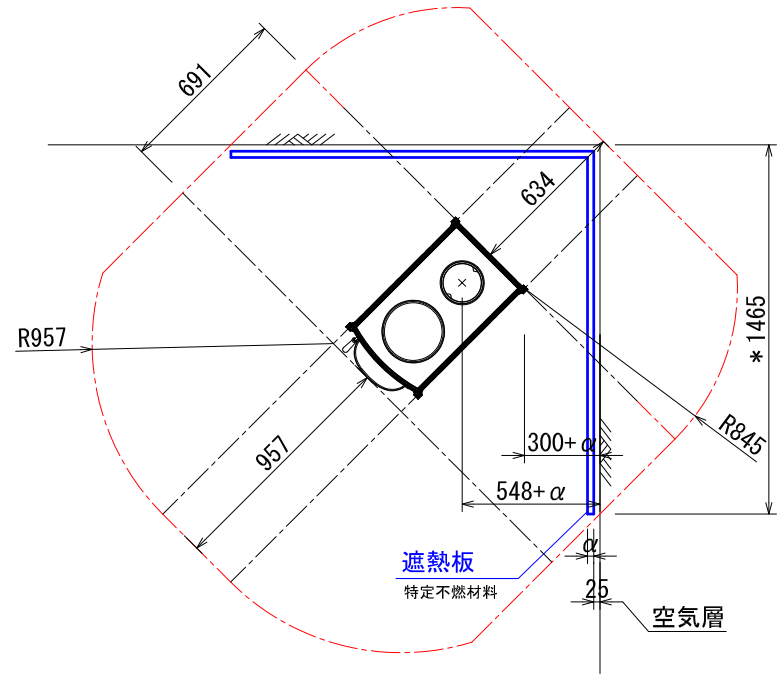
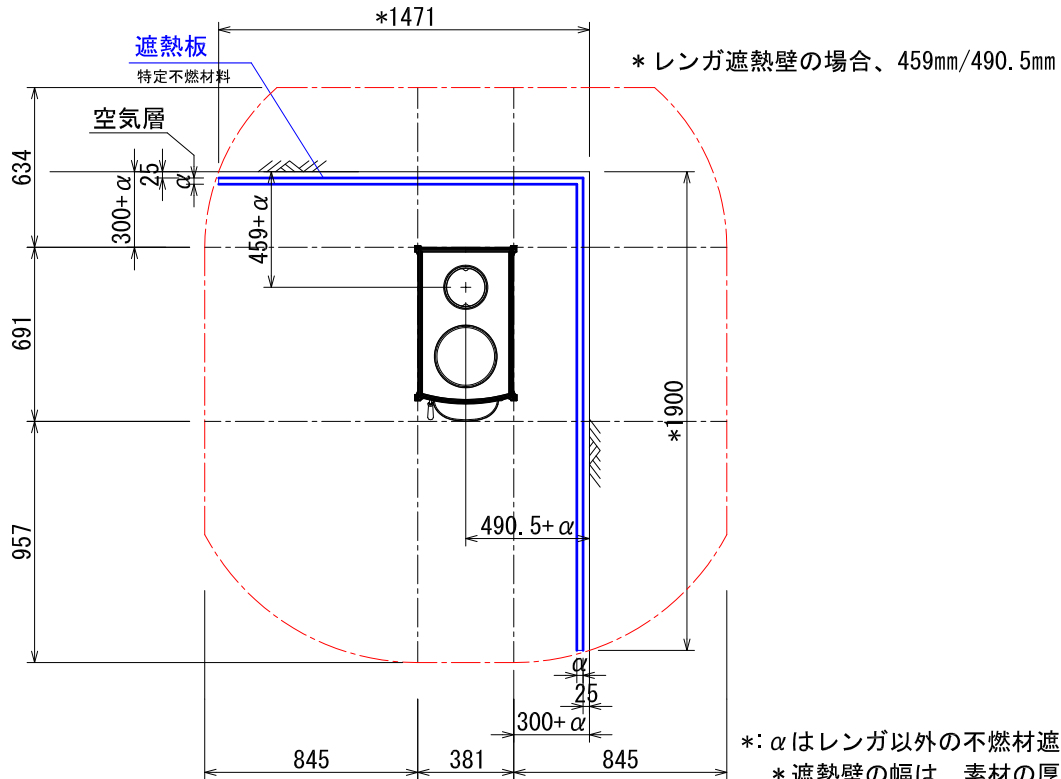


***ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。

平面図



*: α はレンガ以外の不燃材遮熱壁の厚みを差します。
 * 遮熱壁の幅は、素材の厚みによって変化します。
 該当するレンガを使用した場合、離隔距離の1/3が内装壁面までの最少距離となります。

*レンガ遮熱壁の場合、548mm

ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が有効に遮熱遮断されている場合、室全体における壁・天井の内装仕上げについては、難燃材料又は木材等で仕上げる事が出来ます。

2505: ASPEN C3 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

A v		A h	H s		
側面	正面		側面	正面	背面
282,426mm ²	159,036mm ²	263,271mm ²	845mm	957mm	634mm
			1092mm		

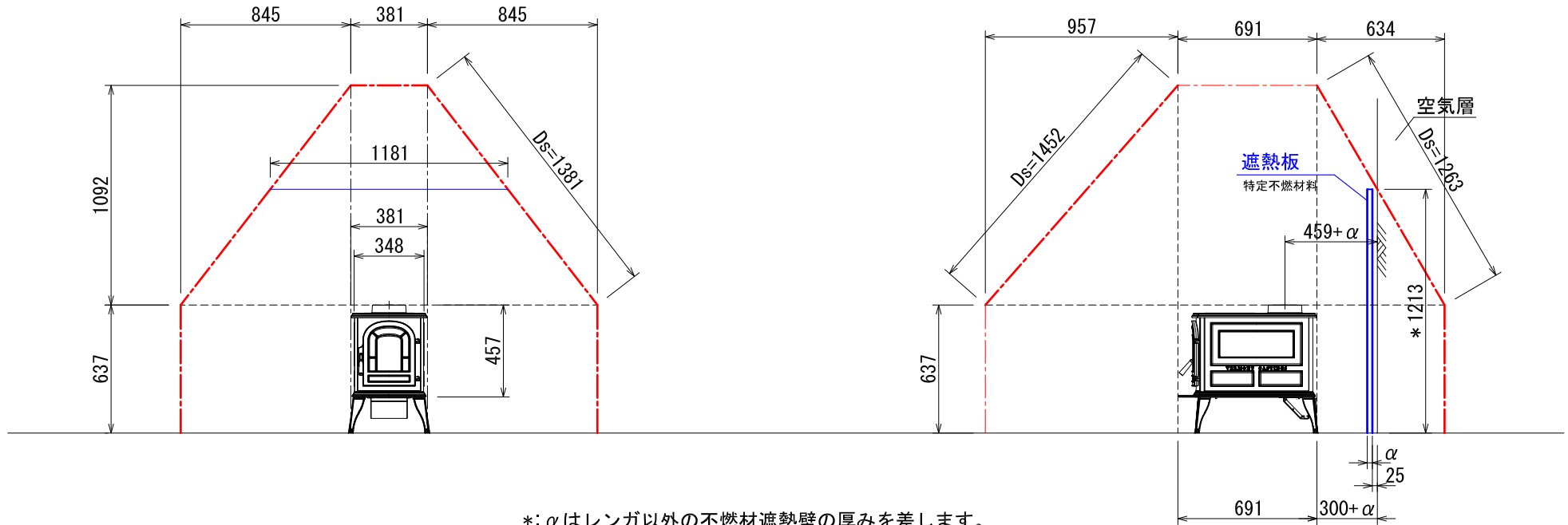
Av=ストーブ鉛直投影面積 Ah=ストーブ水平投影面積 Ls=ストーブ等可燃物燃焼水平距離 Hs=ストーブ等可燃物燃焼垂直距離
 Ds=ストーブ等可燃物燃焼基準距離

図面名	2505 内装制限告示内容に基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

***ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。

正側面図



*: α はレンガ以外の不燃材遮熱壁の厚みを差します。
 該当するレンガを使用した場合、離隔距離の1/3が内装壁面までの最少距離となります。
 遮熱壁必要高さは、遮熱壁の厚みによって前後します。

ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が有効に遮熱遮断されている場合、室全体における壁・天井の内装仕上げについては、難燃材料又は木材等で仕上げる事が出来ます。

2505: ASPEN C3 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

A v		A h	H s			
側面	正面		側面	正面	背面	
282,426mm ²	159,036mm ²	263,271mm ²	845mm	957mm	634mm	1092mm

Av=ストーブ鉛直投影面積 Ah=ストーブ水平投影面積 Ls=ストーブ等可燃物燃焼水平距離 Hs=ストーブ等可燃物燃焼垂直距離
 Ds=ストーブ等可燃物燃焼基準距離

図面名	2505 内装制限告示内容に基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱壁寸法と離隔距離計算表

機種 2505 : ASPEN C3



最大熱出力/時間 8,870 Kcal/h

10.3 Kw

最大熱出力/ 秒	2.47 Kcal/s
----------	-------------

Av : ストーブ鉛直投影面積

Av (側面) = 618 × 457 = 282,426 mm²

Av (正面/背面) = 348 × 457 = 159,036 mm²

Ah : ストーブ水平投影面積

Ah = (アッシュリッパ、リアヒートシールドを含めた最大奥行き) × (最大横幅)

Ah = 691 × 381 = 263,271 mm²

Ls : ストーブ等可燃物燃焼水平距離

Ls (側面) = 1.59 × √Av(側面) ≒ 845 mm

Ls (正面) = 2.4 × √Av(正面/背面) ≒ 957 mm

Ls (背面) = 1.59 × √Av(正面/背面) ≒ 634 mm

Hs : ストーブ等可燃物燃焼垂直距離

Hs = 0.00106 $\left(1 + \frac{1000000}{Ah + 80000} \right)$ Ah ≒ 1092 mm

Ds : ストーブ等可燃物燃焼基準距離

Ds = 図面を参照ください。

発熱量、15,480kcal/s 以下のストーブ
